

M-3-1-56

資料名 滿鐵入社栞

出所 南滿洲鐵道株式會社弘報課

作成年 19401125

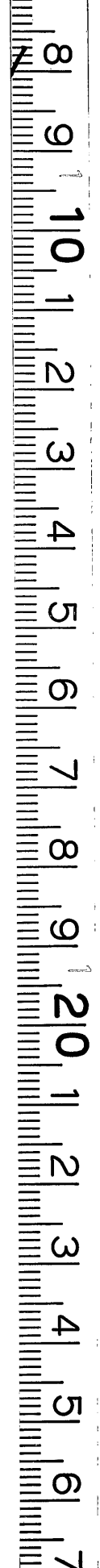
寄贈者

受入 図書館

注記 76P 19×13cm

三才圖會

宋 蘇頌 撰



滿鐵入社の棗

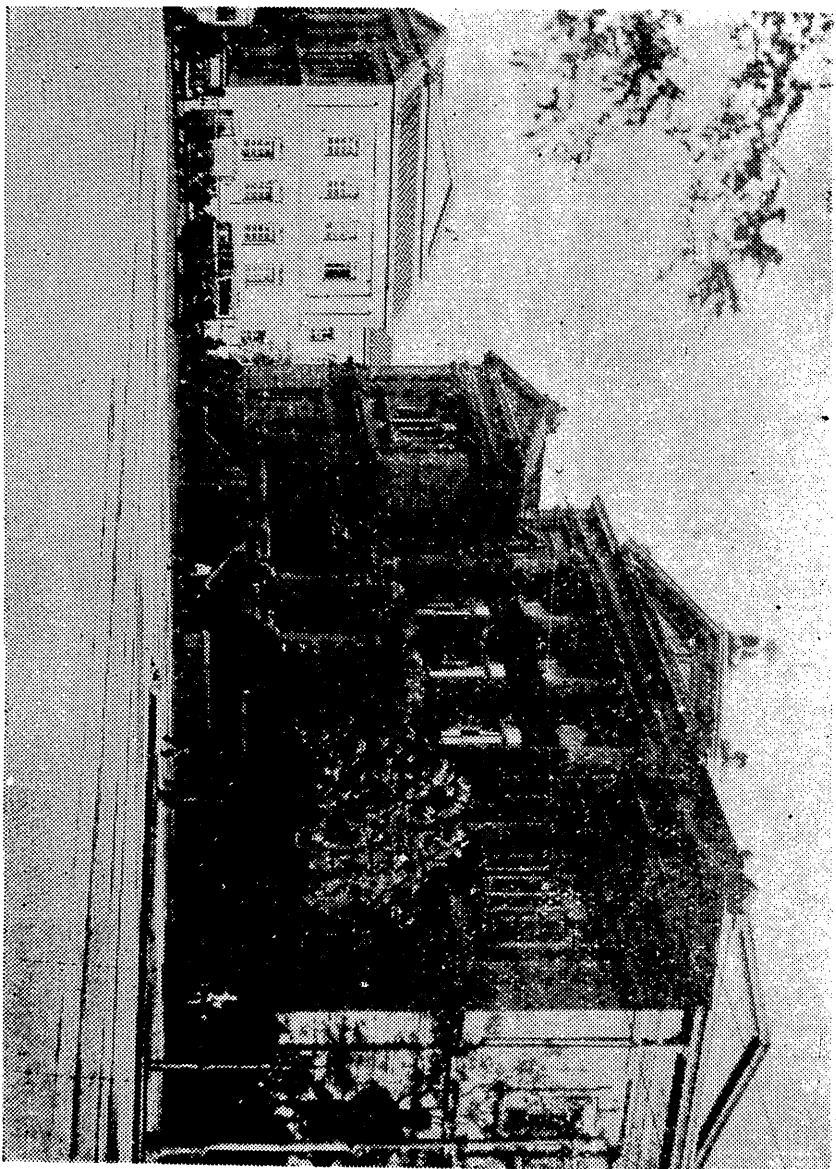
南滿洲鐵道株式會社

は し が き

一、大陸に於ける日滿兩帝國の國策遂行機關として存在する滿鐵會社は

- (一) 鐵道を始め自動車、水運、港灣其他各種附帶事業を綜合運營する交通部門
 - (二) 炭礦事業を中心に製油、製鐵其他の重工業を經營する鑛工部門
 - (三) 國策及平和産業遂行に必要な東亞の全般的調査、研究を擔當する調査部門
- に三大別され、有機的連繫の下に三者一體的活動を爲しつゝあるものである。
- 二、本冊子はかゝる大陸國策遂行の第一線に立つて活動を續けてゐる滿鐵會社に新しく入社を志す人々への入社の手引として編纂したものである。

昭和十五年十月

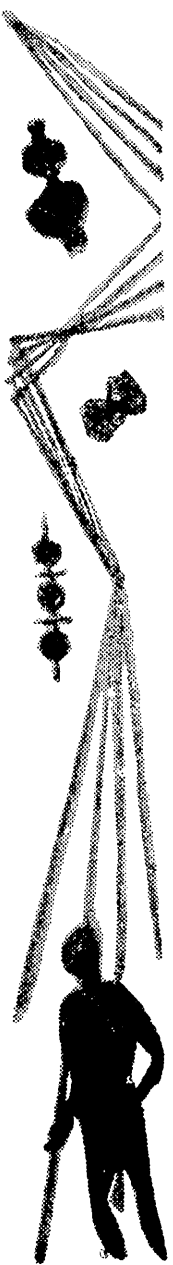


社 本 鐵 滿

目次

一 滿洲の生活	一
(一) 滿洲の氣候と風土	一
(二) 在滿日本人の健康状態	四
(三) 滿鐵の保健施設	九
(四) 滿洲の物價	〇
二 滿鐵の歴史	一三
(一) 滿鐵創業と初代總裁の抱負	一三
(二) 日本權益の苦難史	一五
(三) 滿洲事變と滿鐵	一〇
三 滿鐵の組織と事業	一三
四 滿鐵の人事と待遇	一三
(一) 滿鐵人事の概要	一三
A 滿鐵人事の特殊性	一三

B 人事制度	三三
C 進退	三三
D 教育養成	三五
(二) 給與と待遇	四七
A 基本給與	四七
B 附帶給與	四七
(三) 滿鐵の厚生施設	六三
A 體育關係	六三
B 教化關係	六五
C 慰藉關係	六五
D 厚生關係	六六
E 共濟關係	六七
F 社員共濟規定	六八
附 滿鐵社員會	七四



一 滿洲の生活

(一) 滿洲の氣候と風土

冬の北滿と謂へば骨の髓迄凍りつくものと人口に膾炙されてゐるが緯度から見ると國都新京は北緯四四度で歐米で謂へばロンドン、シカゴ邊り、日本では札幌附近に該當する。そして北滿の最北端の漠河が北緯五三度でベルリン附近に位し、大連の如きはサンフランシスコ、ナポリ附近に位置してゐると謂へば、聊か奇異な感を抱く程であるが、冬の寒氣はベーリングの寒流に禍されてこれら同緯度にある歐米の各地とは比較にならぬ程寒氣は酷しいと謂はねばならぬ。即ち一月の平均氣温は新京が零下七度内外であるに對し同緯度にあるロンドンが一四度、札幌でもせいぜい零下六七度と謂ふのに奉天は零下二二度に降るのであるから、北滿の寒氣は正に露西亞のスピッツベルグ

ンを通つてグリーンランドの南部をかすめ、加奈陀を横斷する等温線の上にある。然し乍ら之は單に外氣温の問題だけであつて、茲に居住する吾々邦人は寧ろ内地北半の人達よりは餘程暖かな冬を送つてゐると謂つても過言でない。

住宅、事務室は概ね洋風の煉瓦造りの二重窓でストーブ、ペーチカ、温水煖房、スチーム等によつて室内温度は一五、六度以上は何時でも保たれてゐる。従つて時に外出して外氣の厳しい寒さに觸れる程度で一日の大部分は恰も春の如き温さの中にある事となる。

これは日本人兒童の身長が冬期でも相當な發育を見てゐる事でも立證せられる。

外氣温も冬は所謂三寒四温があつて三日間は寒氣が続いて風が強いが次の四日間は比較的温かで風もなく一般に湿度も低く、天氣は常に快晴で雨や雪は殆ど降らないと謂ふことは滿洲の氣候の大なる長所であつて、氣温の低い割合に凌ぎ易く殊に快晴日數が多く紫外線は誠に豊富である。夏は夏で表に見る通り相當な高温であるが内地よりも湿度が遙かに低く空氣はさらりと乾燥してゐて所謂蒸し暑いと謂ふ感じは少く、表に現はれてゐる温度よりは實際上遙かに凌ぎ易い。

雨量は内地に比較すると少く一箇年を通じて日本内地の半分乃至三分の一しか降らない。快晴日數は東京の約二倍、新潟、札幌に比較すれば五、六倍に相當してゐるのである。春秋の期間は内地に比べて短いをそれ丈に百花一時に咲き競ひ絢爛花の滿洲は冬籠りが長い丈に春待つ人の心を咬るものがある。

八月の終りから九月にかけて秋冷を覺え、十月中旬になれば秋も蒼惶として去る。

渡滿者の最も悩む嚴冬も以上に概説した通り決して殺人的でない。寒氣の爲に健康を阻害するのではないかと、零下數十度と謂ふ寒氣が直接咽喉に觸れると咽喉カタルを起したり甚しきは氣管支や肺迄も侵されはしないかと危惧する人があるがそれは非常に體が衰弱してゐる場合とか適當な保温をなさずに長時間戸外に立つと謂つた場合にあり得る事でありわけて心配するには當らない。

日本内地は濕氣が強く家の建式等も密閉の不完全な障子、襖の類である爲、襟筋のゾクゾクする寒さを感じて風邪を引き易いのであるが、滿洲の様に乾燥した空氣では譬へ零下二〇度以下に氣温が下つても身が引きしまる様な冷たさであつて此の爲に風邪を引く様な事はない。かうした嚴寒の中にあつて、相當強い寒さを感じる場合でも内臓の温度は殆ど影響を受けず寒さは只皮膚の表面丈の感じであつて、體内の臓器は全く悪影響を受けないと謂ふのが醫家の通説である。

各地の氣象比較表

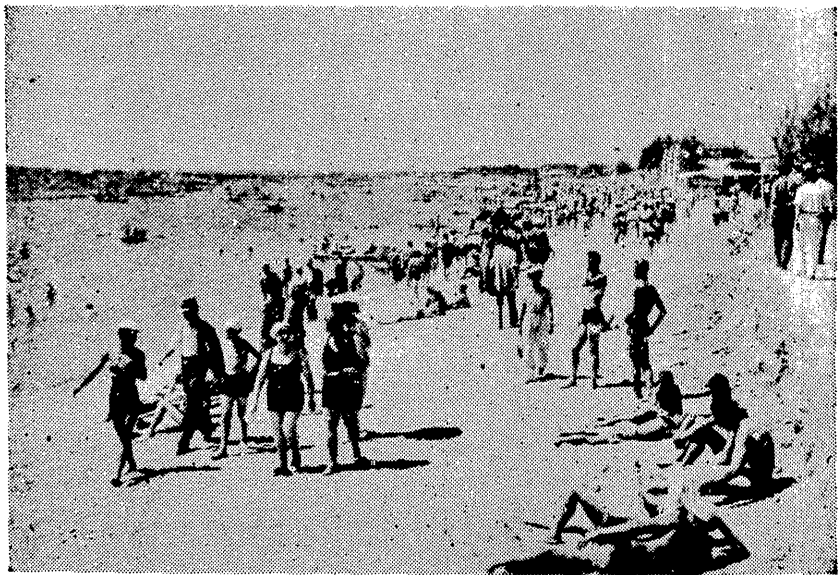
地 名	平均 氣 溫(攝氏)		全年平均	全雨量(年)	全快晴日數
	年平均	最高(月)			
滿洲					
大連	二〇三	二六六(8)零下	二〇六	六〇	二二
奉天	一七三	二四七(7)同	一七〇	六〇	二七
新京	一七三	二二六(7)同	一七〇	六〇	二五
哈爾濱	一〇六	二二八(7)同	一〇五	一〇五	二〇
日本					
東京	一五九	二五五(8)	一七三	一七三	二五
福岡	一五二	二六六(8)	一六二	一六二	二二
新潟	一三六	二五五(8)	一八四	一八四	二二
札幌	一〇六	二〇八(8)零下	一〇三	一〇三	三
歐米					
ロンドン	一〇七	一六九(7)	一〇九	一〇九	
モスコ	一七八	一七六(7)零下	一〇八	一〇八	
シカゴ	一〇八	三〇(7)同	一〇三	一〇三	
モントル	一〇五	二〇五(7)同	一〇九	一〇九	

(二) 在滿日本人の健康状態

斯うした氣候風土の下に在つて在滿邦人健康状態は如何であるかを一瞥して見よう。



星ヶ浦の櫻 (昭和四十年十月二十一日) (旅順要塞司令部 檢閱部)



松花江の夏

先づ川人博士の調査に依る年齢別死亡率に就て見るに、在滿邦人の乳兒死亡率は次の表に示す通り出生千に付八五・五であつて、日本内地の乳兒死亡率一三七・六に比較すると非常に低率であつて、大いに意を強うするに足るが、幼兒期、兒童期と年齢の進むにつれて、在滿邦人の死亡率は逆に日本内地よりも漸次高率を示して居る。

元來乳兒死亡率の低い國は一般健康状態も良好で、従つて乳兒死亡率如何を以て、其の國の文化の程度を判断する規準となつて居る程であるが在滿邦人の如上の事實は誠に奇異な現象であると謂はねばならぬ。

乳兒死亡の少い原因として色々の理由があることであらうが、先づ第一に乳兒死亡の原因中最多數の占むる先天性の弱質に依るもの及肺炎、下痢腸炎、腦膜炎等に依るものが幸ひ我在滿人の乳兒に少いこと等である。

之は一つに父母の年齢が若いこと、或は生活、教養の程度が高いので産後の哺育保護が割合に行届いて居て、乳兒の體質は先天的に良い状態に置かれて居ると謂ふこと等にも依るのであらう。

併しこれより有力な原因として滿洲の氣候は冬は前述の通り寒氣峻烈であるが、家屋内は温暖春の如くであつて、乳兒時代は寧ろ斯うした環境の中に外氣温の影響を受けることが少く、かへつて

比較的良く保護された状態に在ると謂ふ點を見逃してはならぬ。

それが年齢の進むにつれて左表の通り次第に死亡率が高くなつて來ると謂ふことは實に遺憾なことである。

次の統計に示す通り滿洲に於ける總死亡率は在滿邦人千人に付二〇であり、日本内地の一・九と大差がないのであつて、滿洲をあながちに不健康地として忌み嫌ふ内地人の先入感は何としても打破しなくてはならない。

日滿死亡率 (人口千に付)

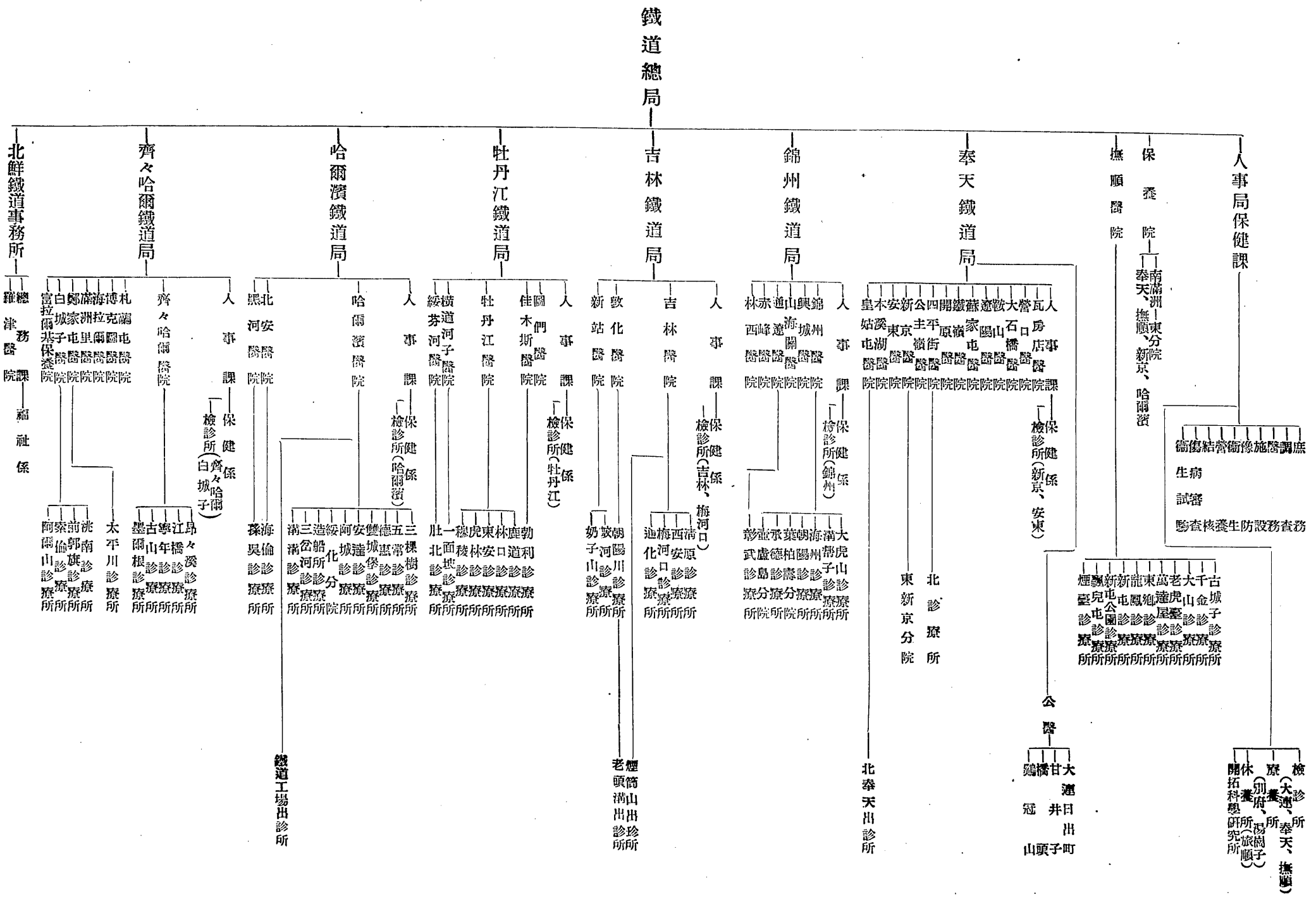
年	齡	在滿邦人	日本内地
乳兒	(一歳未満)	八五・五	一三七・六
幼兒	(一―四歳)	二六・六	二四・三
兒童	(五―一四歳)	五・七	三・九
青年	(一五歳―二九歳)	九・一	八・九
壯年	(三〇歳―四四歳)	八・三	八・九
初老	(四五歳―五九歳)	一八・九	一七・三

傳染病	在滿邦人	日本內地	消化器病	在滿邦人	日本內地
	一〇七	三三		三五	三五
	四二	一〇二		七九	三五
	〇六	一七		〇七	〇九
	〇五	一五		〇九	〇九
	〇六	二二		一三	一三
	〇六	一四		二四	二四
	一三	三二		八六	〇三
	一三	二九		三五	三五

滿鐵保健施設一覽表

昭和十五年四月一日現在

鐵道總局人事局保健課



檢驗所
(大連、奉天、撫順)
休養所(旅順)
開拓科
研究

公醫
大連
甘井子
冠山
頭子町

北奉天出診所

煙筒山出診所
老頭溝出診所

鐵道工場出診所

(三) 滿鐵の保健施設

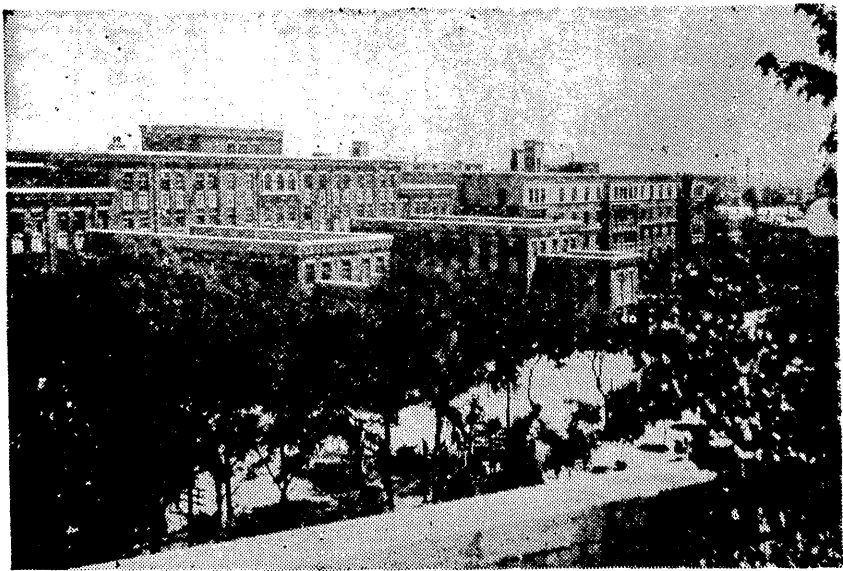
ロシア人は先づ教會を建てるが、日本人は學校と病院を建てるに謂ふことが謂はれて居る。

誠に滿洲に於ける日本人の衛生施設擴充熱は目醒しきものがある。

先づ大連には元滿鐵醫院を法人に改めた大連郊外の小平島、撫順及哈爾濱等に施設完備せる滿鐵直營のサナトリウムがあり、此の外滿鐵沿線には奉天醫大附屬醫院其の外四十位の滿鐵醫院がある。

僻陬の地にも邦人の進出急な所には必らず開業醫、公醫が置かれて居る。

斯の如くして、滿鐵三十年の輝かしき業績の影に社員員の健康擁護に、施療に、豫防に、獻身的な努力を拂ひつゝある滿鐵醫務擔當者の努力を忘れてはなるまい。



(天奉) 病院屬附學大科醫洲滿

(四) 滿洲の物價

滿洲の物價は目の玉が飛び出る程高いと謂ふのは内地の皮相な常識になつてしまつたらしい。成程滿洲の物價指數は東京、大阪等の日本内地の大都市よりも高率を示して居るけれども、夫れは凡ゆる物價の平均を内地と比べた場合であつて、建設材料等は内地より高いが日常の生活必需品のみに就て見れば廉價なものが多い。

殊に現地調辨の出来る米、鳥、獸、魚肉類、味噌、醤油、鶏卵等の食料品は比較的低廉である。今茲に滿鐵資料課の調査に係る滿洲と内地の物價指數の比較を見るに (昭和十五年五月現在)

總平均	雜費	被服費	光熱費	住居費	飲食品費	東 京	
						東	新
一四二・四	一一一・九	一九三・一	一四〇・八	一一三・二	一四九・七	二二九・一	二一八・六
						一六八・五	一六四・六
						三一九・〇	一八六・五

(連大) 合組計生鐵滿



部 草 煙

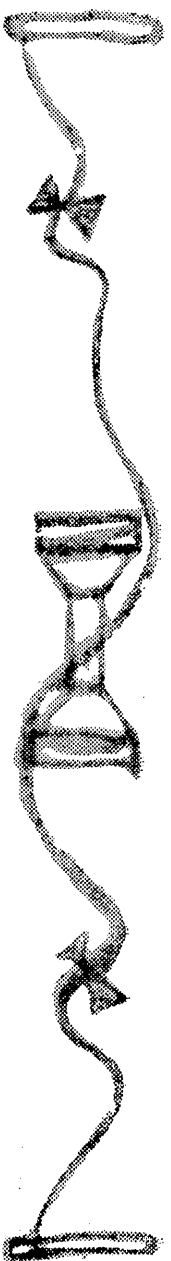


部 服 洋

と謂つた具合であるが。

併し滿鐵は原則として社宅を貸與する外滿鐵社員生計組合が沿線各地にあつて市中より約二割の廉賣を行つて居る爲に生活自體から謂へば内地とさほどに變らないのである。

此の表に依つて内地巷間に傳はる滿洲物價三倍論の如きは全くの臆説であることが判らう。



二 滿鐵の歴史

(一) 滿鐵創業と初代總裁の抱負

日清、日露の兩役に國を賭して贏ち得た日本の特殊權益の中心は滿鐵會社の事業であつた。之こそ吾國大陸經營の根幹をなし、滿洲建國の礎石となつて今日に至つたものである。しかし乍らこの三十五年を顧みる時、そこには幾多の迂餘曲折が有り、波瀾幾度か捲き起り、滿鐵の事業こそは、國運盛衰のバロメーターとして日本の官民は力を竭して之を死守して來たものである。

今滿鐵の誕生とその沿革を見るに、明治三十八年十二月北京に於ける「日清滿洲善後條約並附屬物協定」によつて清國政府の承諾を得、越えて同三十九年七月、時の參謀總長兒玉源太郎大將を委員長とする設立委員會を組織して滿鐵創立を協議することとなり、同年八月遞信、大藏、外務三大臣から設立委員長に對し、南滿洲鐵道株式會社設立に關する命令書二十六條が交付された。同年十

一月後藤新平男(後の伯爵)は總裁を仰付けられ、畏くも明治大帝に拜謁を賜り、優渥なる御詔を拜したのである。

明治大帝は日露の戦役に於て御軫念一方ならず、更に戦後の經營に就いて深く大御心を傾けさせ給ふた。今日「滿鐵は明治大帝の御遺産である」と申し上げることも宜なりと云ふべきである。かくて同年十一月東京に滿鐵本社を設け、翌明治四十年五月本社を大連に移轉し東京を支社とし、同年四月會社の營業を開始する運びとなつた。爾來三十有餘年に亘り、日本の滿洲經營史の根幹となつたものは滿鐵經營であつたと云ふも過言でない。初代總裁後藤新平男は夙にこの鐵道に據つて日本大陸政策の根幹を樹立せんとの大志を天下に披打したものである。これを語るものに「滿鐵總裁就任情由書」がある、之を略述すれば

「日露の戦争は滿洲の一戦を以て終らざるべく、我は滿洲に於て常に主を以て客を制し、佚を以て勞を待つの地歩を占めざるべからず、この爲す所以の要件一に鐵道經營の巧拙如何にあり、今鐵道の經營に依りて十年と出でざるに五十萬の國民を滿洲に移入することを得ば、露國倔强なりと雖も我と戦端を開くを得ず」と、

實に三十有餘年前、この遠謀深慮を披瀝し滿洲の鐵道を大陸國策の根幹たらしめんとしてゐるのである。

爾來滿洲建國後の今日に至る迄の、滿鐵を中心とする滿洲經營は如何なる足取りを示して來たか、輝かしき今日の滿洲、滿鐵を語らんとせば先づこの歴史を顧みる必要がある。

(二) 日本權益の苦難史

イ、米國の觸手

明治四十年會社創立せられて以來の滿鐵三十餘年の歴史こそは、日本の滿洲經營史であり、交通經濟・産業・文化の開發史でもある。そこには波瀾重疊、起伏幾變遷を閲し、の中には先覺の叫びあり、列強の蠶食計畫有り、支那側の壓迫有り、更に白骨を曠野に曝して不毛を拓く血涙の物語りを秘めてゐる。

先づ滿洲鐵道が日露戦後日本の經營下に置かれるや、外國人として率先これに目をつけたのが米國の鐵道王グレート・ノーザン社長ハリマンである。彼は明治三十八年の秋、日露の間に平和甦つた時突如日本の秋を觀賞すると稱して日本に現れた。しかし乍ら彼の意圖するものは鐵道を中心として、米國の勢力を極東に伸張すべき計畫を胸に抱き、滿洲鐵道經營に一役買つて出たのである。時恰も日本は戦後疲弊の極にあり、且つ折角得たる滿洲鐵道の經營も、その成否が氣遣はれつゝあ

つたときであつたから、ハリマンの甘言に易々と乗ることとなり、明治三十八年十月日本政府はハリマンとの間に「滿洲鐵道の日米共同經營」の豫備覺書が取り換されたのである。

この時救世主の如く出現したのが小村壽太郎侯その人であつた。小村侯はポーツマスの勞苦を骨に刻み、癒へやらぬ病軀を抱き、國民の心なき罵聲を浴びつゝ故國の土を踏んだのであるが、侯が歸國早々耳にしたものは何か、それは廟議に於ける前記の政府、ハリマン間の豫備覺書だつたのである。小村侯は早速閣議に列席して絶對反對を表明したのである。曰く「滿洲鐵道は日露の戦に於て同胞十萬の屍と、二十億の國帑を費して贏ち得たものである。これを外國に渡すに於ては、何を以て上陛下に應へ、何の顔かんはせあつて國民に見えんとするか、どうしても内閣が滿洲鐵道をハリマンに讓渡すると云ふならば、自分は遺憾ながら骸骨を乞ふて野に下り、自分の所信を國民の前に披瀝する迄だ」と絶叫した。小村侯の熱烈なる反對意見は遂に政府を動かし、ハリマンとの覺書を取消すことに決定し、翌三十九年一月附で該覺書の無効を要求してこの問題は一段落を告げたのである。滿鐵をして流産の憂目より救ひ、而も今日の事態を築く一つの礎石を置いた小村侯の遺勳は永く記憶されねばならぬものである。斯かる意味に於て滿洲の表玄関、大連小村公園の丘の上には同侯の銅像が建立されてゐる。

米國の滿洲に對する野心は之のみに止らず、再度、三度、四度と吾等の頭上に迫つて來たのである。當時日本の國力は今日の如くでなく、日本政府當局の敗北主義的色彩の濃厚であつたことは遺憾であるが、而も皇運伸展は已まずして今日に到つたことは喜ぶべきことである。

ロ、露國の蠢動

日本の滿洲經營史上最も脅威となつたものは、露西亞の滿洲に於ける觸手たる東清鐵道(後、東支・中東・北滿と名稱を改變す)の存在であつた。露西亞は一度日本に破れ彼等の野望の先端は完全に挫けたが、而も依然として北滿に君臨して其の滿・蒙・支に對する年來の抱負を棄てなかつた。即ち大正三年には露蒙密約を結んで蒙古への鐵道進出計畫を企圖し、或は同四年には呼倫貝爾に關する露支密約を結んでは鐵道利權を得、或は露・支・蒙三國協定を成立せしめてその勢力の伸張を圖つた。然るに一方露西亞國內に革命勃發するや、支那側は東支鐵道の諸權益を徐々に回復し始め、遂に昭和四年五月支那側が駐哈ソ聯總領事館の手入を行つたのを機として、ソ・支兩軍の衝突となつたが支那側は脆くも潰へてしまつた。帝制ロシアからソ聯邦に代るともロシアは依然として昔日の鐵道政策を踏襲し、凡ゆる手段によつて滿鐵に對抗し、その一つの現れが滿鐵との北滿貨物の爭奪であつた。彼は北滿の貨物を自然の流に逆行して迄も滿鐵線に據らず浦鹽へ向けて輸送を始めたの

である。

而し乍ら昭和七年三月滿洲國が成立し、北滿鐵道は滿洲國有鐵道に包圍されてその價值は半減するに至り、該鐵道の讓渡問題がソ聯側から提出され、昭和十年三月正式調印となり讓渡の完成を見たのである。かくてロシアが滿洲に有する觸手は完全に拂ひ去られ、茲に四十年振りに彼等の侵略の魔手を斷ち全滿鐵道は一元的經營の下に滿鐵の傘下に包含せられ、こゝに滿洲國の健全性を中外に示すことゝなつたのである。

ハ、英國の勢力

更に英國の觸手に就いて若干を述べよう。支那滿洲の鐵道事業に最も早く着眼し、且つ建設に着手したのは英國であり、北京―奉天間の京奉鐵道がその根幹と成つたものである。英國が滿洲へ鐵道建設を計畫したのは露國の勢力南進に拮抗する爲で、英・露間にはこれが爲め屢々確執を生じたが、後、日・露の擡頭となつて老獪なる英國もその驥足を伸ばすわけには行かなかつた。そして最後にリットン卿一行の視察報告によつて彼等の馬脚を露呈してしまつたのである。尙彼等の借款下に在つた京奉鐵道と滿洲國分を奉山線とし、借款整理をなして滿鐵經營下に置かるゝに至つた。

ニ、東北軍閥の擡頭

日本は滿洲經營三十年に於て、その初期に在つては米・露・英等列強との拮抗に力を竭し、漸くにしてその生命線を守りこれを排除し得たのであるが、その後に来つたものは東北政權の壓迫であつた。昭和三年六月張作霖が爆死してその子張學良が踏襲して東北の獨裁官となるや、排外運動は一層の拍車を加へ、北にロシアを逐はんとして東支鐵道の回收に一步を進め、南に日本を挫かんとして排日運動は深刻を極めたのである。今その排日の一、二を述ぶるに、先づ昭和四年六月遼寧省國民外交協會を結成して幾多のスローガンを掲げ露骨に排日思想を鼓吹し、虚構の宣傳に日も足らぬ有様であつた。

更に最も痛切なる影響を滿鐵に與へたものは東北交通委員會の計畫である。該委員會は昭和三年九月に成立し「打倒滿鐵」「東鐵回收」「自辦鐵道敷設」の三項目を掲げ、殊に滿鐵包圍の劃策は辛辣を極め、日本權益の根幹たる滿鐵の枯死策は徐々に具體化されて行つたのである。加ふるに壺蘆島の築港によりて大連港を牽制せんとし、又東北滿蒙鐵道綱一萬軒達成計畫を樹て、遮に無に我に迫り、帝國の權益は正に壊滅の斷崖に立ち、日支の國交は最悪の危機に頻したのである。この間に於ける排日教育は深刻を極め、古來如何なる國何れの時にも見ざる害惡に満ちたものであつた。偕てかゝる事態の累積の結果日支の間は正に觸發の危機を孕みつゝあつた矢先、昭和六年五月の萬

寶山事件、同年六月の中村大尉虐殺事件等相亞ぎ、日支間の危機は遂に發火點に達し、同年九月十八日柳條溝附近の滿鐵線爆破により滿洲事變となつたものである。

(三) 滿洲事變と滿鐵

滿鐵は滿洲事變から建國にかけて何をなしたか、その大要を語らう。昭和六年九月十八日奉天附近の柳條溝鐵道爆破となるや、茲に皇軍の精銳は直ちに支那軍閥と交戦し、滿鐵はその利那より皇軍と協力し軍の輸送その他に支障なからしめ、全滿に亘つて形影相添ふて軍鐵一致の信念の下に只管その使命の達成に努力したのであつて、皇軍の神速果敢なる行動に遺漏なからしめたものは、實に三十年の經驗と、その綜合的能力を擧げてこれに寄與したからに外ならぬ。

滿洲事變と建國の聖業に直接携つた者だけでも三萬九千餘人を數へてゐる。滿洲建國と云ふも滿鐵三十年の歴史あり、機關あり、多年訓練せる社員あり、その調査あり而してこれが基礎工作を容易ならしめたことは言ふ迄もない。更には今次の支那事變に際して滿鐵は率先して北支鐵道經營に資材、人材を惜しみなく派し、軍の作戦とその後に於ける大陸交通の完成に將亦民衆の宣撫工作に力を竭しつゝあるのである。滿鐵三十餘年の經營に於て、殉職社員を出すこと八千名、内約八十名は靖國神社に合祀の榮を擔つてゐる。今日大陸を旅する諸人士が、事もなげに安易な夢を結ぶことの

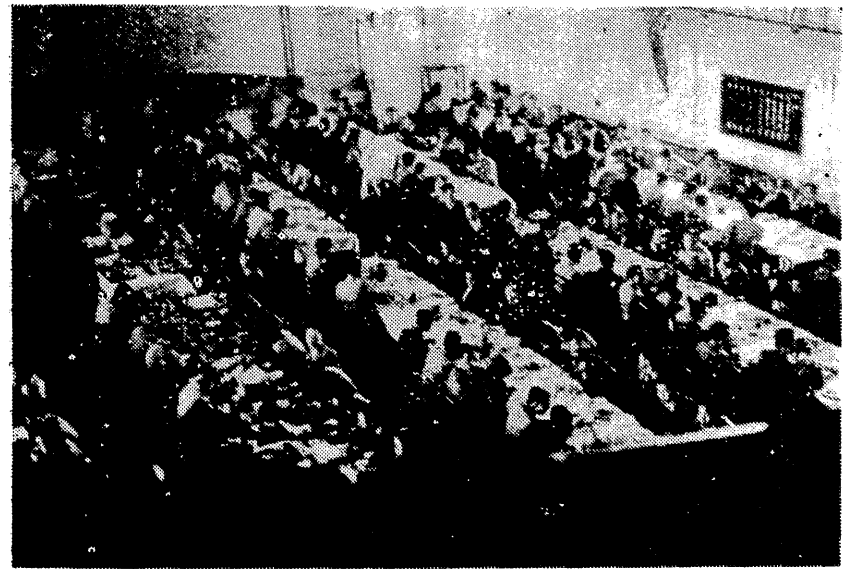
出来る鐵路の下には、實に此の八千の人柱のあることを忘れてはならない。願れば滿洲及支那に於ける武器なき戦士として殉難した人々、之等は無名の士であり、而も克く後より來る者に無限の精神的指標となれる先驅者なのである。

鐵道五訓

- 一 至誠奉公
- 一 融和一心
- 一 規律嚴守
- 一 研究練磨
- 一 質實剛健



(連大) 景 風 務 執

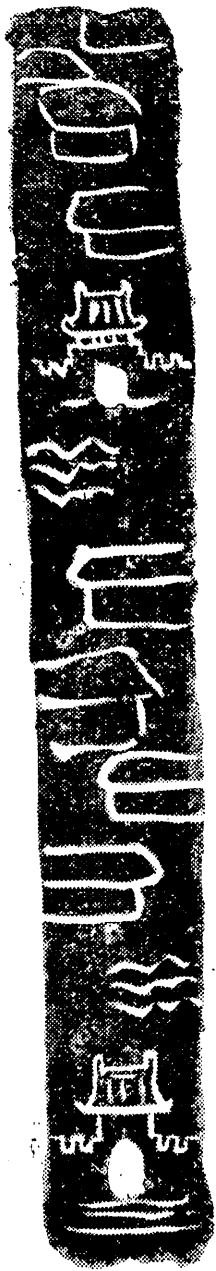


(連大) 堂 食 員 社

三 滿鐵の組織と事業

滿洲國の成長に伴ふ諸情勢の進展に應ずる爲、昭和十一年十月、松岡總裁の手によつて劃期的な職制の改革が行はれた。この新職制は、特に鐵道を根幹として各事業を統合し、産業關係機關の統一強化を計ることを眼目としたもので、社線・國線・北鮮線の全鐵道の一元的經營、營業部の新設、監査役の新設、用度部の設置と商事會社の新設を内容とした。

右の大職制改正は創業以來第十一回に當り、その後本職制を根幹として隨時部分的改正が行はれ昭和十二年十二月滿鐵附屬地行政權の滿洲國移讓に伴ふ地方部の解消、支那事變を契機とする北支事務局の新設及び分離(昭和十四年四月華北交通株式會社として滿鐵關係會社となる)昭和十三年四月産業部の改廢による調査部の新設昭和十四年四月松岡總裁の辭任を機に實現された滿鐵大調査



部案の具體化等が夫れである。

重 役

重役とは總裁・副總裁・理事・監事を指す。總裁と副總裁は、勅裁を経て政府之を任命し、理事は百株以上の株主中から政府に於て之を任命、監事は株主總會に於て株主中から選任される。正副總裁の任期は五箇年、理事四箇年、監事三箇年である。しかして現在は總裁一名、副總裁二名、理事八名、監事五名、別に數名の顧問が置かれてゐる。

社 員

創業の際、野戦鐵道提理部から引繼いだ従事員數は、職員二千百八十名、傭員四千二百三十九名に過ぎなかつたが事業の擴大に伴つて年々急速度に増加し、創業三十四年の今日社員總數は十八萬に達し、創業當時の二十八倍餘に躍進した。

社員制としては職員・雇員・傭員の三階級が設けられ、職員中の高級者には參事、副參事の待遇が與へられる。現在、日本内地人社員約十萬人中、職員二萬一千、雇員一萬六千、傭員六萬三千、その他囑託百八十である。なほ、このほかに十萬を超える社員外従事員を計上するときは、滿鐵の従事員は、實に三十萬に上る。

會社の事業

會社本來の業務は、會社設立に關する政府命令書に準據するもので、事業の主なるものは、(一)一萬軒を突破する鐵道と二萬軒餘の國有自動車路線に加ふるに、大連港以下諸港灣、北滿江運、其の他拓植産業、土地、愛路等の附帶事業を含む交通部門、(二)撫順炭礦を中心とする鑛工部門、(三)東亞全體に亘り國策的調査研究を擔當する調査部門の三大事業を經營する他に投資七十社に上る傍系並關係會社を有し、名實共に世界に冠絶する國策會社としての偉容を完備してゐる。

一、交通部門

該部門を大別して(一)鐵道、(二)自動車、(三)港灣河川とするがその他に附帶事業として、滿洲國産業開發に積極的に協力するため産業助成機關、日本政府の移民國策に順應し、鐵道警備に任ずるための拓植事業、或ひは滿鐵の所管鐵道用地の管理經營のための土地施設、又は鐵道の安全性を確保するため沿線の住民に協力せしめ、各區域的に鐵道防護に任せしめて運行の萬全を期するため愛路運動等がある。

イ、鐵道

鐵道業は滿鐵事業の樞軸をなすもので、その成績如何は直ちに滿鐵全體の業績を支配するもので



(天奉)局 總道鐵

ある。昭和十一年十月奉天に鐵道總局創設以來從來の社線・國線・北鮮線を綜合經營することとなり、爾來買収或ひは新線建設と相俟つて昭和十五年一月未には以上三者の計、實に一萬四百餘軒となり、滿鐵待望の一萬軒を突破したのである。加ふるに今次支那事變の戰果の一つとして、北支鐵道の經營が滿鐵によつて行はれ、之を華北交通會社として分離獨立せしめ、人的、物的の支持を繼續してゐる。かくて日滿支ブロックに一大進展を與へ、鮮滿支を通ずる交通に對し刮目すべき事態を招來した。従つて三者の中間に介在して、一元的經營下に在る滿洲鐵道に課せられたる使命は更に廣汎なる意義を體し、新情勢下に於て滿鐵が過去三十有餘年間に得たる有力貴重なる實驗と習熟せる技術とを有効に生かす事

切實に要求されてゐる。尙鐵道の附帶事業として旅館及食堂車營業、倉庫營業、及鐵道工場經營業がある。

ロ、自動車

近世陸運交通界の二大雙壁として鐵道と自動車とを擧げることが出来るが、輒近自動車事業の驚異的發達は短距離輸送に於て鐵道を凌駕し、更に鐵道の最大特色たる長距離大量輸送の領域をも侵さむとする情勢を示し、既存の陸運機關は自動車の支持協力なくして存続し難き趨勢となりつゝある。この秋に當り、滿洲國では國防、政治、産業開發上、鐵道と密接なる關係を有する路線は國有自動車の運行路線とし、この國有自動車の經營を擧げて我滿鐵に委託せられた。斯くて新開拓を爲すべき大陸に、我社經營の鐵道と自動車兩者の健全なる發達を期し得るものである。

殊に各種工業が近年漸く興隆の緒についたばかりの滿洲國に於ては、政治の普遍化、治安の維持産業の開發、國防の充實等何れも交通機關の完備に依つて招來さるべきである。然るに輸送機關としての老成なる國有鐵道は建設計畫成ると謂へ、その完成迄には猶數年の距りがあり、然も地方交通機關の充實は寸時と謂へども忽緒に出来ないのである。この見地より、企業費廉く事業の割合に簡單にして克く鐵道の代營となり、且つ山間僻地に迄も踏入り得る自動車を以て短を補ふと謂ふこ

とは、最も當を得た策と謂へる。今や滿洲國の六萬軒道路計畫は著々として實現し、交通機關としての自動車は將來益々其の重要性を有するものである。

八、港灣、水運

滿鐵の港灣事業は陸上運輸の連絡上不可欠のもので、鐵道經營と相俟つて極めて重要な地位にある。又大陸に於ける鐵道は國內輸送に大なる役割を要するは勿論であるが、更に海外輸送を目的とする特性を有するものであるから、従つて鐵道輸送物資の大部分は港灣を起點又は終點とするもので、港灣施設の完否は直ちに鐵道運輸に影響し大陸開發の使命達成に重大關係あるもので、鐵道の統制下に公正適切なる運用を必要とする。現在經營中の埠頭は大連(甘井子を含む)旅順、安東、營口、羅津の五港と、委任經營の清津、雄基、河北(營口對岸)、壺蘆島の四港、さらに傍系日滿倉庫會社の經營に託してゐるものに川崎、大阪の二埠頭、同じく大連汽船會社に委託經營させてゐるものに上海埠頭がある。河船にて今日汽船の運船してゐるものは、松花江、黑龍江、烏蘇里江、嫩江等、所謂北滿河川のみである。就中松花江は北滿の穀倉とも稱すべき大平野を貫流し、北滿水運の九〇%を占め、黑龍江、烏蘇里江は政治的に極めて複雑性を有し、國境河川として、軍事上重大任務を負ふは論ずる迄もない。更に滿洲國産業五箇年計畫に基く北滿資源の輸送路として、松花江

と共に其の經濟價值は彌が上にも嵩められつゝあり、産業上將又軍事上の見地からも其の主要性は鐵道と其の軌を一にするものがある。

二、鑛 工 部 門

會社經營炭礦は撫順、煙臺、蛟河(奶子山)、及び老頭溝、瓦房店の五箇所であるが、職制上に於ては凡て撫順炭礦の所管下に置かれ、同礦所屬の一坑或は採炭所として經營されて居る。炭礦業はその投資額からも又收益率の上から云つても鐵道に亞ぐ會社の主要企業で、鐵道との綜合經營によつて、會社の収益に伸縮性を與へ、財政の基礎を鞏固ならしめて居る。尙附屬事業として發電工場・モンド瓦斯工場・タール蒸餾工場・ピツチコークス工場・石炭乾餾工場・硫酸工場・酸水素工場・諸工業及機械製作・土木・水道・電氣・鐵道・電燈・瓦斯等を合せ經營してゐる。

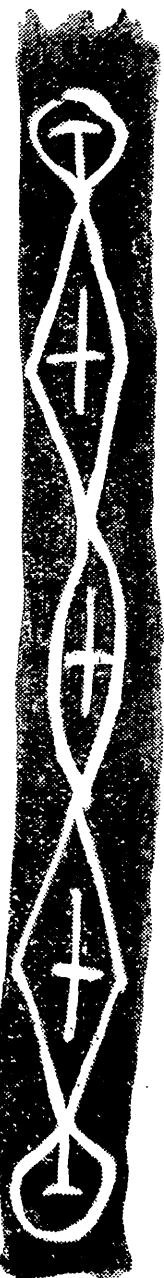
特に製油工場と石炭液化工場は炭礦事業中滿鐵が世界に誇る劃期的な大事業であつて製油工場は撫順炭田の上層部分を構成する油母頁岩を原料として重油を生産するもので、會社創業當時より研究に着手、爾來二十年間に亘る凡ゆる調査研究を経て漸く昭和五年七月、世界無比のオイルシェール工場を完成營業を開始し、製油業界に巨歩をふみ出したのである。石炭液化工場は液體燃料に關する對策が國策上の問題として重要視され、刻下の國防上、絶體に必要とされるに至りて、その要

求に應じて生じたのである。會社は夙に撫順炭の液化に著目し、多額の試験費を投じて研究中であったが、遂に直接處理法に依る液化に成功し工場化するに至り、昭和十四年七月二十三日付滿鐵總裁名によつて液化法技術の完全成功が發表されたのである。

三、調査、研究機關

特殊會社たる滿鐵の事業は、その範圍が極めて廣汎多岐に亙つてゐるので、社業の圓滑な遂行には各種の調査研究を行ふ必要がある、會社は、一方に於ては社業の各部門にそれ／＼専門機關を設けて社務に直接必要な調査研究を行ふと同時に、他方に廣汎な一般的産業經濟調査を行ひ、また自然科學上の各種の研究にも當つて來た。更に直接社業と關係ない方面にまで、その技術と資本を動員して手を伸ばさざるを得なかつたのは、滿鐵を措いて滿洲の基本的諸調査に着手し得るものが無かつたことにも起因するが、それ以外に凡てその國策的使命に對する自覺に因るものであつた。これ等の調査研究機關は、數次の職制改正によつて屢々改廢分屬され、昭和十四年四月一日調査機構の擴大強化により、現在の大調査部が設立され、滿鐵の調査事業は鐵道炭礦事業と並稱される滿鐵三大事業の一となつた。即ち本社所在地大連にある調査部は擴充と共に、哈爾濱と北京には夫々北滿・北支・經濟調査所が、また新京・上海・東京には調査室が新設され、從來外局とされてゐた

東亞經濟調査局も亦滿鐵直屬として南洋方面の調査を擔當することになつた。かくて滿鐵調査部は鐵道の運営と共に會社の使命とする産業開發のため新情勢の展開に對應しつゝ諸般の調査に専念するもので、大陸開拓の觸手たり且つ羅針盤として調査事業は永く滿鐵と共に存続し、永年に亙つて蓄積した經驗と技術とは、滿蒙、さらに北中支の開發に、今後益々その眞價を發揮し、各方面に指導的役割を果すであらう。この他に滿鐵の事業として尨大な投資部門を語らねばならない。即ち會社設立當時は、公共的性質を帯びる事業は政府命令書によつてすべて經營し、また將來有望な事業で獨立企業家の進出を困難とするやうなものは、率先經營に當つてきた。しかし、滿洲産業界の發達につれて、別個の獨立組織に改め一般企業家の經營に委ねて會社資金の轉換を計ることを寧ろ得策とするに至つたので、大正四年先づ海運業を分離し、大連汽船會社を設立したのを手始めに逐次必要に應じて各會社の分離獨立を行つてきたのである。しかしその後も滿鐵本來の事業と密接不離の關係にある新企業には進んで出資し、殊に事變後、日滿經濟提携の要請に應じて簇出する各種重要會社には國策會社としての使命に基き、多年の信用によつて資本導入管たる役割を演じてきた。昭和十五年六月現在に於ける滿鐵の關係會社は七十社に及び、産業・經濟・文化の凡ゆる部門に亙つてをり、一般に「滿鐵コンツェルン」と呼ばれる所以である。



四 滿鐵の人事と待遇

(一) 滿鐵人事の概要

A 滿鐵人事の特殊性

會社人事は極めて複雑龐大な機構に於ける従業員を對象とするものであり、従つて單一事業會社と異り頗る複雑性を帯びて居ることは謂ふ迄もない。

従業員は各業務部門、例へば鐵道、自動車、港灣、炭礦、學校、醫院等に應じ質を異にし、勤務條件を異にするのみならず勤務地域に於ても北南滿、支那各地に依り自然的、文化的事情を異にする。更に民族的にも内地人あり、滿人あり、鮮、露人を加へて頗る異色がある。

斯くの如く會社業務が複雑多岐に亙り且多くの傍系會社を有して居る關係と、滿鐵の傳統である人事の交流の弾力性との依り適材適所主義は百パーセントに實現せられて居る。

此の一事は選職上刮目すべきことである。

B 人事制度

社員の資格

社員の資格は一般社員に就ては職員、雇員、傭員の三段制を採り之に依つて社員の待遇及身分の統制を圖つて居る。

尙、職員中には待遇名として參事、副參事を設け、又雇員中の年功者を優遇する趣旨より詮議を俟つて月給を以て待遇すべきものとして居る。

採用後の資格は中等學校程度以下の出身者にあつては傭員、専門學校以上出身者にあつては職員である。

C 進退

採用

社員の採用には定期採用と臨時採用とがある。毎年定期に中等學校出身者、専門學校以上出身者及在滿除隊兵を多數採用するのは定期採用であり、隨時會社業務の必要に應じて採用するのは臨時採用である。

採用に當つては學校長の推薦に依り學業成績、人物、健康に重點を置く關係上、中等學校出身者に在つては筆記試験又は口頭試問及嚴重なる體格検査を行ひ、専門學校以上出身者は口頭試問及同じく嚴重なる體格検査を行ふことになつてゐる。

登 格

登格とは資格の昇進を謂ふ。即ち傭員中一定の勤績期間を経、業務に熟練して雇員としての資格を有すと認められたものは、之を雇員に登格せしめ、雇員にして一定の勤績期間を経、事務或は技術に練達して職員としての資格を有すと認められたものは之を職員に登格せしむる。登格の認定に就ては試験制度若は詮衡制度を採つて居る。

非 役

社員が

- 1 在職の儘一年以上入隊するとき
- 2 會社の命に依り長期間直接會社に屬しない業務に従事するとき
- 3 給費修學を命ぜられ又は私費修學を認可せられ其の修學期間が一年以上に及ぶとき
- 4 以上の外會社に於て特に必要と認めるとき

5 華北交通會社派遣のとき

には社員たる身分は持つて居ても會社本來の業務に携つて居ない故を以て特殊な人事、給與の取扱を爲すことになつて居る。

D 教 育 養 成

會社は従事員の教育養成に意を用ひ各種養成機關を充實、之に當らしめる外總括的養成に關しては總裁室人事課をして之を所管せしむる等、銳意従事員の素質向上を圖りつゝある。

新入社員養成

専門學校以上出身の定期採用新入社員に對しては先づ滿蒙及支那の概況を明にし會社事業の全般的概念を把握せしむる必要上講習會を開催し、社業關係箇所の見學を行ふ外支那語及露西亞語の講習を施し、各箇所分屬後は其の箇所の方針に基き、現業或は事務の見習を終へて九月若は十月に全滿各地の視察旅行を行ふ等將來有爲の社員をつくるべく努力して居る。

其他の社員養成機關は別表参照。

外國留學及出張

社業廣汎多岐に互り且つ特殊使命を有する關係上、博識にして社内外の事情に精通し相當期間勤

續する有爲の人材を必要とする。之が爲會社は樞要なる地位を充すに足るべき人材の養成策として外國留學及外國出張の制度を設け各方面より親しく現地に就て歐米方面の事情を研究し、學識を豊にせしむる爲人物を銓衡して派遣する。

日本内地及海外派遣給費學生

日本内地及外國に於て學術技藝修得の爲本制度を設け勤續二箇年以上の社員にして所屬長の推薦した者の中から銓衡派遣する。

給費學生制度

會社は専門學校入學資格を有する滿二十五歳以下の社員にして勤續一箇年以上の者の中から銓衡して東亞同文書院、哈爾濱學院大學及南滿洲工業専門學校及同附設臨時技術員養成所へ給費學生として派遣する。

鐵道從業員養成

滿洲事變以來鐵道從業員數は膨脹の一途を辿り此の傾向は支那事變に依つて一層拍車を加へられ實に年々二萬數千の増員を示して居る。

併し之等新採用者の九〇%迄は鐵道業務に無經驗の者を以て充されて居るので、之が養成に就て

は鐵道總局人事局養成課自體の擴充強化とともに養成機關の新設整備を斷行して、此の新情勢に對處しつゝある。

滿鐵青年隊



會社は青年社員の心身を鍛練し滿鐵精神の涵養を圖り併せて社業の運営に資する爲め日本人未成年男子社員を隊員として隊舎に收容し、私生活の向上刷新を圖ると共に各種の訓練並に青年學校教育を通じて之が指導誘掖に當つてゐる。隊の編成は原則として職制上の命令系統に依り鐵道總局に總隊本部を置き總隊の下に左記二十五隊をその下に支隊、分隊及班を編成してゐる。

青年隊本隊設置箇所

本社、鐵道總局、撫順炭礦、東京支社、新京支社、上海事務所、奉天鐵道局、錦州鐵道局、吉林鐵道局、牡丹江鐵道局、哈爾濱鐵道局、齊々哈爾鐵道局、北鮮鐵道事務所、大連埠頭局、大連鐵道學院、鐵道技術員養成所、大連鐵道工場、奉天鐵道工場、新京鐵道工場、哈爾濱鐵道工場、齊々哈爾鐵道工場、奉天鐵道建設事務所、牡丹江鐵道建設事務所、哈爾濱鐵道建設事務所、齊々哈爾鐵道建設事務所

滿鐵青年學校

會社は青年學校令に則り青小年社員の心身を鍛練し徳性を涵養すると共に會社業務並びに實際生活に須要なる知識技能を授けるため本科(四年)及研究科(二年)を置き青年隊員中左に該当する者を義務として就學せしめてゐる。

本科、高等小學校卒業者又は之に相當する素養ある者。

研究科、本科卒業者又は之に相當する素養ある者。

尙滿鐵青年學校設置箇所は左記の通りである。

大連鐵道學院、大連鐵道工場、奉天鐵道局、新京支社、撫順炭礦、錦州鐵道局、吉林鐵道局、牡丹江鐵道局、哈爾濱鐵道局、齊々哈爾鐵道局、北鮮鐵道事務所

撫順炭礦の社員養成

撫順炭礦は中等學校及小學校の卒業生養成には特に意を用ひ將來滿人工の指導者として實際業務上優れたる人格識見、技術を體得せしむべく努力して居る。

養成機關の内容に就て述べれば次の通である。

撫順炭礦養成機關を二分して直接養成機關として現業員育成所及現業員訓練所があり間接養成機

關として華語講習所及私立撫順炭礦青年學校が在る。

1. 現業員育成所

本所は炭礦従業員として必要なる一般知識を授け品性を陶冶以て剛健質實なる優良従業員を育成するを目的とする。

イ 本所に入所したる者を見習工と稱す。

ロ 見習工を分けて採炭測量科、機械科、電氣科及應用化學科、製圖科の五種とす。

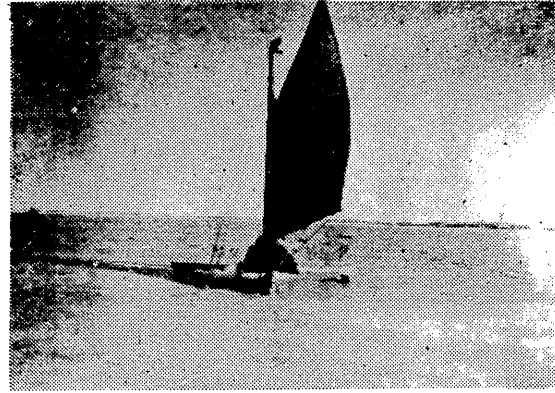
ハ 本所の修業期間は三箇年とす。但し修業成績優良なる者に於ては前項の期間を一箇年以内に短縮することあるべし。

ニ 本所に入所し得べき者は身體強健にして算年十五歳以上十八歳以下の高等小學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められ入所試験に合格したる者。

ホ 卒業者には卒業證書を授與し之を撫順炭礦備員に採用す。但し身體検査に合格せざる者は此の限に在らず。

ヘ 本所卒業後社員に採用せられたる者は滿五箇年間本會社に勤務する義務あるものとす。

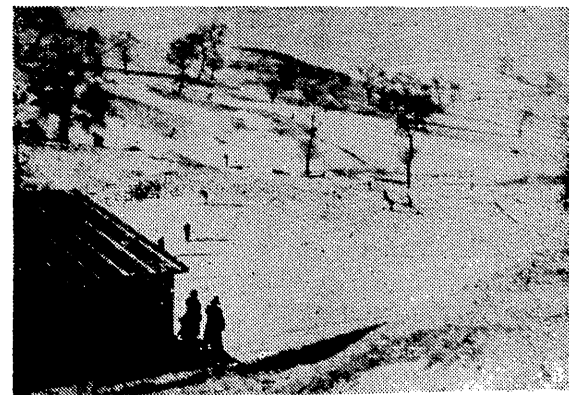
ト 見習工には食費、手當を支給されると共に被服を貸與され其の他種々の特典あり。



松花江上のヨツト



新京郊外



玉泉スキー場

2 現業訓練所

本所は撫順炭礦傭員として採用せられたる者及現に炭礦従業員として在職する者に對し業務上必要なる一般知識及技能を與へ併せて其の品性を陶冶するを以て目的とす。

イ 訓練生を分けて第一部、第二部及第三部とする。

ロ 訓練科目は其の都度之を定む。

ハ 第一部、第二部生の訓練期間は四箇月乃至二箇年、第三部生の訓練期間は其の都度之を定む。
ニ 本所に入所し得べき者は左の要項に該當し炭礦長の適任と認めたる者。

第一部生 算年二十二歳以上二十七歳以下にして高等小學校卒業又は之と同等以上の學力ありと認められ撫順炭礦の採用試験に合格し傭員として採用せられたる者。

第二部生 最近四箇年以内の中等學校又は甲種實業學校卒業生にして撫順炭礦の採用試験に合格し傭員として採用せられたる者。

第三部生 現に撫順炭礦従業員として在職する者にして所屬長の推薦有りたる者。

3 撫順炭礦華語講習所

イ 本講習所は當炭礦従業員に炭礦用語を教授するを以て目的とす。

四 滿鐵の人事と待遇

口 修養期間は六箇月を以て一期として毎週教授時間は六時間以上とす。

鐵道總局養成機關一覽表 (昭和十四年六月二十日)

養成機關	所在地	人種	科別	期間	入學資格
大連鐵道學院 (收容力 一、二〇〇名)	大連	日人	運輸科 無線電科 電信科 機關科 檢車科 保線科 電氣科	一箇年 同 同 六箇月 同 同 同	中等學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる者にして二十五歳未満の者なること 高等小學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる者にして十七歳未満の者なること 會社機關助手若は準備員として又は兩者を通算して一箇年半以上(中等學校卒業者は一箇年以上)勤務せる三十歳未満の者なること 夫々檢車保線又は電氣業務に入社三箇年以上(中等學校卒業は一箇年以上)勤務せる三十歳未満の者なること

奉天鐵路學院 (收容力 九二〇名)		哈爾濱鐵道學院 (收容力 四五〇名)	
奉天		哈爾濱	
日本人		露人及日人	
電 信 科	本 科		別 科
	部一 業務科 二箇年	部二 業務科 技術科 三箇年	
一箇年	二箇年	三箇年	五箇年
國民優級學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる者にして十九歳未満の者なること	國民高等學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる白系露人にして二十歳未満の者なること	國民優級學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる白系露人にして十六歳未満の者なること	國民優級學校卒業者又は之と同等以上の學力ありと認められたる白系露人にして十六歳以上三十歳未満の者又は會社從事員にして勤務成績優秀なる白系露人 會社露語教育規定及鐵道總局語學講習會規定に依る甲種講習會修了者又は會社語學檢定試驗露語三等合格者若は之と同等以上の學力有りと認められたる會社從事員にして三十歳未満の日本人

農業修練所 (收容力 二〇〇名)	熊岳城 奉天 富拉爾基	人	自動車運輸科 線路科 土木科 通信科 電信科 其他	二箇年	甲種農學校卒業又は之と同等以上の學力を有する 二十五歳未満の者なること
看護婦養成所 (收容力 四八〇名)	撫順 安東 哈爾濱 吉林	日(哈爾濱人 は滿人を 含む)		二箇年	高等小學校卒業者(滿人に在りては國民優級學校 卒業者)又は之と同等以上の學力ありと認められ たる十五歳以上二十五歳未満の者にして家族の係 累なき者なること

註 右の外日人従事員の養成に關しては少年鐵道見習制度及大連並哈爾濱鐵道學院の速成電信講習科、哈爾濱鐵道學院の旋盤講習科等あり

(二) 給與と待遇

A 基本給與



基本給與と謂ふのは給與待遇の基本であつて、總ての給與金額算出の基準である。従つて實際給與額は此の身分給に應じて算出せれる在勤手當、家族手當等と基本給與と合算せられたものである。

此の基本給與は職員に對しては月俸、例外的に年俸の形式に依り雇員に對しては月給又は日給、傭員に對しては日給に依つて支給せられて居る。社員は入社と同時に其の身分の格付をされると共に基本給與を定められる。之を初任給と謂ひ、學歷、經歷、民族別等を考慮して決定せられる。

現給は原則として年一回、人格、成績等を考慮して所定の内規に依つて昇給される。

B 附帶給與

在勤手當

滿蒙北支其の他内地を離れて在勤する内地人社員は在勤地の氣候、風土、文化施設の程度、物價の變動等種々の事情を考慮して待遇上の均衡を期する爲に本制度を設けて補給策として居る。

家族手當

家族を有する月俸百五十圓未満の職員及雇、傭員に對しては其の家計上の困難を緩和する意味で家族數を考慮して手當を支給して居る。

賞 與 金

定期償與金は毎年六、十二月の二回勤務日數及勤務成績に應じて一定率に依り支給せられる。右の定期賞與金以外に特別の勤務に服した時又は特に優秀な成績を挙げたときは特別な獎勵目的から臨時不定期に臨時賞與を支給する事がある。

この外に十一月から三月迄に支給される臨時手當や獨身者居住費一部補給がある。

乗車パスの發行

社員並家族が私用旅行をせんとする場合に於ても會社所管全線及華北交通會社との協定に依り同社全線の乗車パスを支給して居る。

乗車等級 雇、傭員並下級職員 三等

職 員 二等

參事及副參事 一等

因に家族は當該社員の待遇に準ず。

朝鮮及内地

鮮鐵は社員並家族、鐵道省線は社員のみに對して五割引乗車證を發行しあり。

此の外大阪商船日本郵船は社員並其の家族に對して二割引乗船證を發行しつゝあり。

尙總務系統及鐵道關係職員にして五箇年以上勤続したるものには五年に一回、請假歸省の場合に限つて鐵道省全線の無賃乗車券が發行せられる。

退職手當及受取延期金制度

會社は所定の年數勤続したる者に對しては内規に依り相當額の退職手當を支給し以て退職後の生活を保證して居る。

社員が退職後支給せらるべき退職手當の受取を延期したる場合に於ては會社は一種の預金制度として之を預り高率の利子を支給しつゝ、以て社員の退職後の生活を益安固にしつゝあり。

社宅及住宅料並別居手當

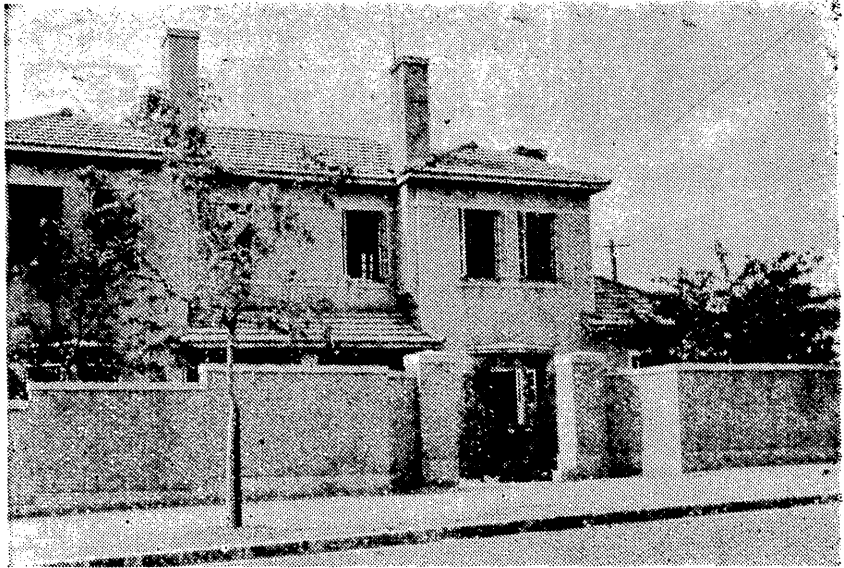
會社は社員に對しては原則として家族持社員には家族持社宅を、獨身社員には獨身社宅を貸與し、社宅に餘裕なき場合又は特殊の事情ある者には一定の住宅料を支給して臨時散宿せしむるの制度を採用して居る。

最近社業の飛躍的擴張に伴つて激増せる社員に對して居住上の不安を與へざる様代用社宅制を擴張し、又は新社宅の建設を企圖する等鋭意社員の福祉増進に努め事務局下の住宅難に對應しつつある。又特殊事情に依り家族別居のときは別居手當として一律月額三五圓を支給し家族に對しては其の居住地に於て家族持社宅又は住宅料を支給し本人に對しては其の任地に於て獨身社宅又は住宅料を支給してゐる。

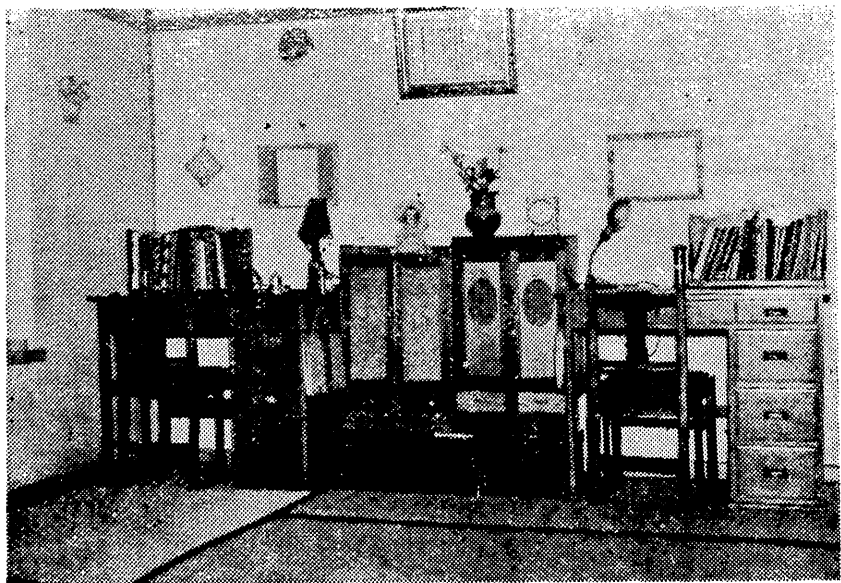
社宅貸與標準及社宅標準規格

日本人社員は資格給額等を標準とし左記規定に依り社宅を無償貸與する。

種別	標準延料數(料)	標準間取	暖房	水	浴室	其他設備	貸與標準
特 甲	一八三三	應接間食堂 二八六三	溫	水	浴	室	月俸五〇圓以上同待遇者
甲	一六三三	食 堂 八六三	同	同	同	同	月俸五〇圓以上同待遇者
乙	一三三〇	八六三	ベ	チ	カ	同	月俸三〇圓以上同待遇者
丙	六八〇	八六三	同	同	同	同	月俸三〇圓未満同待遇者
丁	五二六	六五三	同	同	同	同	雇員
獨 身 一人當		六五三	六	ス	チ	ー	ム
			同	同	同	同	獨身社員



(日一十二月十年四十和昭) (丙) 宅 社
濟査檢 部 令 司 要 要 順 旅



室 供 子 部 内 同



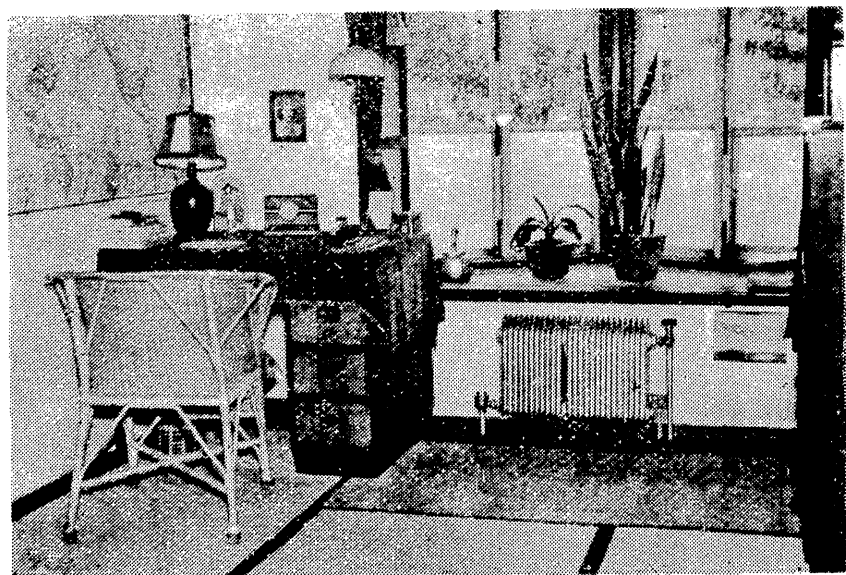
獨身寮の生活

會社は特に獨身社員の指導に力を致し其の多數を獨身寮に收容し之を寮員の自治經營とし、その生活は流石に生氣に充ち満ちて明朗である。各部屋は洋間と日本間の二種に岐れて居て、洋間にはベッド、机、椅子が備つてゐる。

此の外、寮共通の設備として食堂、應接間、圍碁室、浴室、談話室、テニスコートまで備はつて居る。其の上各寮には寮司が居る外、母代役の寮母は洋服の繕ひからやつて呉れる。寮では寮員全體が大家族の構成員であり同胞である。各寮對抗の野球、テニス、圍碁大會などが行はれる。最近は巡廻書庫が配置され滿鐵社員の自肅振りを見せて夜は讀書に餘念がなくこれにも飽きれば烏鷺や卓球を戦はし國家百年の大計に談論風發の會合も見られる。かくして懐しいものゝ一つは此の獨身寮の生活である。



洋 室



和 室

事務系統新入社員給與待遇並福祉概要 (昭和十五年六月現在)

地名別	種別	本俸	在勤手當	住宅料	家族手當	賞與	退職慰勞金	バス割引證	共濟	滿鐵生計組合
大連	(C)(B)(A)	八〇圓 七三圓 七〇圓	月俸の四割	家族持は月俸の四割 單身者通家族手當及同補給金を月俸の二割支給す	(家族手當月額表) 二人迄 四人迄 五人以上 一五圓 二二圓 三〇圓	年二回(六、勤務年數に十二月)月應じ之を支俸の三〇割給す 乃至四〇割 相當程度を支給す	バス割引證 (バス) 會社所管線は對し左記給與本人及家族に金を支給す 二等バスを發給す但し社用の爲出張の場合左記の如し 合は別に旅費を支給す (尙月俸一五〇圓以上となりたるときは一等バスを發給す)	共濟 社員及家族に對し左記給與ありて市價より二割乃至三割廉價にて購買し得	滿鐵生計組合	
奉天	(C)(B)(A)	同 同 同	月俸の五割五分	家族持は月俸の五割 單身者は月俸の二割五分 相當額を支給す					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	
新京	(C)(B)(A)	同 同 同	月俸の六割五分	奉天に同					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	
撫順	(C)(B)(A)	同 同 同	月俸の五割五分	大連に同					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	

地名別	種別	本俸	在勤手當	住宅料	家族手當	賞與	退職慰勞金	バス割引證	共濟	滿鐵生計組合
哈爾濱	(C)(B)(A)	同 同 同	月俸の八割	家族持は月俸の七割 單身者は月俸の三割五分 相當額を支給す					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	
齊齊哈爾	(C)(B)(A)	同 同 同	月俸の九割	哈爾濱に同					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	
牡丹江	(C)(B)(A)	同 同 同	同	哈爾濱に同					治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	

註表中
 大學出身者
 四年制專門學校出身者
 三年制專門學校出身者

中等學校程度給與待遇並福祉一覽表 (昭和十五年六月現在)

地域別	種別	本俸	在勤手當	住宅料	賞與	退職慰勞金	バス割引證	昇給	共濟	滿鐵生計組合
大連	(3)(2)(1)	二二〇圓 一九〇圓 一八〇圓	なし	家族持本俸 四割 單身者本俸 二割(六、十二月) 最低 一五圓 但し原則として社宅に收容す	勤務年限に應じ支給す	バス割引證 (バス) 會社所管線三等バスを發給す (割引證) 鐵道省及朝鮮	昇給 年一同 勤務成績に對し左記給與金を支給す 依り昇給す	共濟 社員及家族に對し左記給與ありて市價より二割乃至三割廉價にて購買し得	治療料 入院料 扶助金 分給給付 癩疾給付 死亡給付 災害給付 脱退給付	滿鐵生計組合

四 滿鐵の人事と待遇

撫順		哈爾濱		齊齊哈爾		牡丹江	
(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
月俸五割五分 (元・五〇圓)	月俸五割 (元・三〇圓)	月俸八割 (元・二〇圓)	月俸七割 (元・一〇圓)	月俸九割 (元・一〇圓)	月俸九割 (元・一〇圓)	月俸九割 (元・一〇圓)	月俸九割 (元・一〇圓)
大連地區の割 合と同	同	家族等は月俸 の七割、單身者 は月俸の三割 を支給す	同	哈爾濱地區の 割合と同	同	同	同

六一

は鐵道省線内但し本人に對
割引證本人及ては要したる
家族に對して額の九割額
は朝鮮鐵道局家族に對して
線立會社連帶は要したる額
航路の割引證の七割相當額
を發給す
尙割引率は省
線及鮮鐵線は
五割大阪商船
大連汽船は二
割引但し省線
は家族に對し
ては割引なし

註 (A)は大學卒業者
(B)は高工卒業者

(三) 滿鐵の厚生施設

由來滿鐵の所謂物的給與なるものは主として此の厚生施設を指稱するのである。
 厚生施設とは取りも直さず滿鐵人をしてよりよき文化的な而も質實剛健なる生活を與へると謂ふ
 一事に盡きる。我社員をして教養を高め情操を陶冶し健康を増進し、其の生活を安定ならしめ光明
 と希望ある生活を爲さしめる爲に會社は業務の一端として年々多額の金額を此の方面に注ぎ込んで
 居る。

A 體育關係



會社は社員體育の向上普及を圖る爲全滿沿線各地に巨費を投じて武道場、競技場、冬
 期運動場等の施設並管理を爲し、社員をして自由之等施設を使用せしめ、又家族、
 女子、兒童の體育を指導し體育運動機具の配付等を行ひつゝある。

(1) 滿鐵運動會

本會は昭和十四年四月に改組し社員體育並運動競技の健全なる發達を期し社員精神の作興に貢獻
 するのを目的としたもので運動競技の全般的統制や連絡、又は會社代表選手の選定、選手遠征並に
 社外體育團體の招聘其の他の事業を遂行し、武道、相撲、射撃、馬術、航空、陸上競技、水泳、漕

四 滿鐵の人事と待遇

六三

艇、體操、卓球、排球、籠球、蹴球、野球、庭球、水上競技、スキーの二十二部を置き會社よりの補助金に依つて運営し本部を總局厚生課内に置き、支部を大連本社、新京支社、撫順炭礦、北鮮鐵道事務所及各鐵道局に設置し、役員には會長、副會長、理事、常務理事、各部長、庶務、會計、幹事委員を置き本部會長には總裁、副會長には副總裁を推戴してゐる。

(2) 保健施設

社員並家族の健康保持に必要な施設として會社は夙に山紫水明の地に海水浴場、河水浴場、避暑地、プール、ヒュツテ、スキー場其の他の施設を經營し休養を圖つて居る、此の中屋ヶ浦、札蘭屯の如きは遠く歐洲に迄喧傳せられて居る。

社	線	橋頭、夏家河子、星ヶ浦、家族會館、溫泉寺、
國	線	富拉爾基、扎蘭屯、巴林、哈爾濱、松花江、興城溫泉

(3) 兒童遊園

兒童本位の遊戯場を設置し社員子弟を戶外に於て自由に嬉戯せしめ自然の生活に親ませ其の發育の助長を期しつゝある。

B 教化關係

社員及婦人、兒童の精神陶冶、知識の啓發を圖る爲毎年内外の知名士を招聘し講演、講習會を開催、沿線居住民にも一般に公開して居る外次の如き事業を實施して居る。

- 1 夏期大學
- 2 巡回書庫
- 3 兒童寄宿舍
- 4 家事講習所
- 5 兒童館

C 慰藉關係

沿線僻地在住の社員を慰藉奨勵し趣味情操を豊かにする爲に會社は映畫、演藝、慰安車、船、自動車等の巡回を爲し或は音樂會、展覽會を開催し又は趣味的技藝の講習、巡回畜音機等を行つて居る。

又春季には花卉、蔬菜の種子を廣く配付して園藝趣味を普及し、尙グラスバンドは本社育成學校、鐵道工場、埠頭、奉天、新京、撫順、錦縣、吉林、牡丹江、齊齊哈爾等の社員團體を以て組織して

居る。

尙社員相互の協和的精神を涵養すると共に生活の向上、親睦、修養、慰安の中心機關として地方文化の殿堂たらしむべく俱樂部が設立せられ爾來逐年増設せられて今日では百十六箇所に達して居る。

規模は地方に依つて一様でないが大體談話室、集會室、新聞、圖書室、撞球室、食堂、娛樂室、理髮室等の設備を有して居る。

D 厚生會關係

會社は從來社員の生活、福祉の増進を圖るを目的として厚生施設の全面的擴充を企圖する一方厚生業務を本質的に従事員と共に圖り共に行ふことに於て社員の自發的協力に俟つことが極めて大なるものがあるに鑑み、從來の俱樂部規程を廢し各地の區々たる福祉團體をも大同團結し自治機關を組織せしめ、教化、慰藉、體育等厚生會規約を制定し、之に俱樂部並運動施設を經營せしめ會社の厚生業務に提携協調し融和一心以て社業の圓滑なる遂行に參割せしむることを期した。本會の機構は鐵道總局人事局厚生課長が之を統括し其の設立地域内居住の滿鐵社員を以て構成し、會長、部長、幹事、評議員を置き左の業を爲し本事業に要する經費は會費及會社よりの補助金を以て之に充て、

ゐる。

E 共濟關係

多くの一流會社には此の種共濟の制度を見かけるが、滿鐵は其の擁する老大な社員數に依つて實に世界に誇るに足る共濟制度を有して居る。

此の制度の最も著しい恩典は社員治療費の外家族に對する救濟で、又社員が疾病休務の場合にも扶助料を支給することである。

今茲に社員共濟制度の概要を示せば

1 加入社員及共濟基金

日人雇傭員及本俸二百圓未滿の職員は會社に採用されると同時に共濟に加入し毎月所定の金額を醵金する。共濟基金は社員の醵金と會社の支出其の他の收入を以て之に當てる。會社は毎半期に醵金額の倍額を限度として共濟總支出額と社員醵金及び其の金利子等の合計額との差額を補助金として支出する。

2 醵金

雇員及傭員

日給一日分

月俸七十圓未満の職員 月俸額の百分の五
 月俸百圓未満の職員 月俸額の百分の六
 月俸百圓以上の職員 月俸額の百分の七

	加入社員數	釀金額	給與金總件數	給與金總額
大正四年度	10,061件	3,531圓	1,761件	7,066圓
昭和一三年度	7,721件	2,537.76圓	2,771.01件	4,943.87圓

給與金内譯

年次	社員		家族		釀金百圓に付給與金
	件數	金額	件數	金額	
大正四年	1,551件	7,026圓	507件	4,096圓	1.96
昭和一三年	3,110.51件	4,513.3圓	3,320.51件	8,701.1圓	2.01

F 社員共済規程 (昭和十五年六月現在)

一 總 說

社員共済規定は社員並其の家族の傷病、死亡、羅災等の事故に依る社員の經濟的負擔軽減を目的と

し之が基金は社員の釀金並會社の補助金其他を以てし現在給與種目十四種を數へ其の目的達成に努めつゝある。

一 給 與 金

給與種目は次の十四種である。

社員治療料、社員入院料、社員分娩手当金、扶助金、特症手当金、特症旅費、病傷救済金、弔慰金、罹災金、年功金、家族治療料、家族入院料、家族分娩手当金、家族葬祭料

一 病傷給付

(一) 社員治療料及社員入院料

- 1 社員又は家族が病傷の爲會社醫院の治療を受け又は入院したときは社員は其の醫療費の九割を家族の場合は七割を共済にて負擔する。
- 2 會社醫院以外の醫師の醫療を受けたときは會社醫院の醫療費を標準として治療料又は入院料を給與する
- 3 尙醫療を受けるのに必要な特殊の診断料検査料及重症其他已むを得ない事情で往診料、看護料、移送費を要した時は八割以内の金額を給與する。

四 満額の人事と待遇

四 満鐵の人事と待遇

七〇

(二) 扶助金

社員が病傷休務し會社給料の支給を受けないときは左の扶助金を給與す

1 有家族者には一日に付給料日額の五割を乗じたものに家族一人毎に給料日額の一割を加へた額である(但給料日額以内)

2 獨身者通院治療の場合には一日に付給料日額の五割

3 獨身者入院治療の場合は一日に付給料日額三割

(三) 特症手当金及特症旅費

1 社員が肺結核に罹り休務したときは其の日より九十日間給料の全額、其の後は其の六割額を特症手当金として給與する但し會社から給料の支拂給を受ける者に對しては重複する金額は支給しない

2 右社員が療養の爲轉地する場合には八十圓以内の旅費を給與する

二分娩給付

(一) 社員分娩手当金、家族分娩手当金

社員又は其の配偶者が分娩したときは分娩手当金として金三十圓を給與する

三 廢疾給付

(一) 病傷救済金

社員が病傷の爲勤務に堪へぬと會社が認めて退職せしめ又は退職を許したときは月俸額の三倍以上二十五倍以内の病傷救済金を給與する

四 死亡給付

(一) 一弔慰金

社員が死亡したときは月俸額の二十五倍の弔慰金を豫め指定した受領者に給與する

(二) 家族葬祭料

家族が死亡したときは贖金月額の十倍又は十五倍(最低三十圓)の家族葬祭料を給與する

五 災害給付

(一) 罹災見舞金

社員が水火震災等に因つて著しい災害を受けたときは百圓以内の見舞金を給與する

六 脱退給付

(一) 年功金

四 満鐵の人事と待遇

七一

社員が一年以上醸金を爲した後脱退した場合には左の金額を給與する
一年一箇月より三年迄の間の醸金額合計の半額
三年一箇月以後の醸金額合計の金額

福祉生計事務所

當所の業務は社員に對し生活必需品を圓滑且合理的に配給して物的給與を実施すると共に社員の生計合理化を圖る使命を有するもので、我が社が廣範に亘る鐵道經營を遂行する上に金錢給與と共に重大なる役割を持つてゐる。昭和九年業務開始以來社員の輿望に添ひ使命の遂行に邁進して來たが利用社員も亦逐年急激に増加し生計所設置方要望の聲は沿線各地より起り年々之が新設並諸施設に忙殺され當初九箇所のものが數年後の今日に於ける配給機關は支所及分所を合して七十九箇所となり殆んど全滿鐵道沿線（社線を除く）の主要地に普通設置せらるに至つたのである。

生計組合

滿鐵は社員の生活必需品其の他の貨物に付市中より約二割方廉價で販賣せしむる爲沿線各地に消費組合を設立してゐる。殊に大連に於ける組合の如きは恰も大百貨店の觀がある。

社員に對しては現金傳票通帳及掛通帳の二様の傳票を發行し、掛帳購入高は月末社員の俸給より

差引くこととなつてゐる。

之等の生計組合の存在が生活の上に好影響を與へてゐることは非常なもので共濟制度と相俟つて主要な物約給與を構成してゐる。

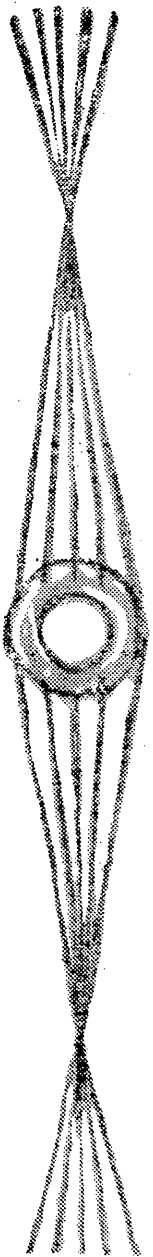
公傷社員に對する救済施設

社員にして業務に起因したる傷痕及疾病に罹りたるときは社費を以て療養せしむるは因より療養上休養を必要とする場合に於ては其の期間出勤扱として給與其の他の諸手当を支給する。

此の外機能障碍の軽減を圖る爲には義肢、義齒、義眼等を支給する。公傷に依り機能障碍を残したる者に對しては其の程度に應じて傷病手当を支給する外其の機能に應じて會社内部での職業を轉換せしむるか若は滿洲弘濟會に委託して職業の再教育を施して新なる職業に就かしめることを圖つてゐる。

滿鐵獎勵學資金財團

本社は創立二十周年記念事業の一として昭和二年本財團を開設し社會に多大の功績を貽してゐる即ち滿鐵社員並其の子弟にて高等專門學校以上の學校及在滿中等學校に在學する者及留學、研究をせむとする者の爲に慎重審議の上奨學費を支給しつつある。



附 滿鐵社員會

滿鐵社員會は、滿鐵日本人社員の自主的愛社精神が具現したところの倫理的團體であつて、機關誌「協和」を發表する外、社員福祉増進、修養教化等の諸事業を遂行してゐる。滿鐵は前述(滿鐵の歴史参照)の通り、明治大帝の御遺産であり、初代後藤總裁以下歴代の總裁、並びに社員同胞はよく、その重大使命を理解して經營に従事して來たのである。しかし、日本に政黨政治が發達するに従つて、その悪弊が滿鐵に迄及ぶに至る様になり、この状態を見た心ある社員は、固く結束し、滿鐵は國民全體のものにして、決して政黨の自由に任すべきでないとし大正十四年の夏頃から、社員會結成の運動が漸く活潑になり、翌十五年六月本會が設立されたのであつて本會はその綱領の精神を體して「滿鐵精神」の練磨を第一義的目標にしてゐる。

- 庶務部——會議・選舉に關する事項・一般會務の統制
- 組織部——會社職制其他内外の新情勢に基く社員會組織の改變充實
- 會計部——豫算・決算・一般經理
- 調査部——會社業務・待遇問題等社員會關係事項各般の調査による資料整備
- 編輯部——機關誌「協和」の編輯大綱・社員會叢書・其他出版諸企畫
(聯合會通報部)——聯合會の編輯部に相當し連絡及び通報の任に當る
- 福祉部——會員の福祉に關する研究
- 事業部——收益事業により基金及び經常費の充實を圖る
- 宣傳部——社員會意識の深化徹底に努め特殊事件の解説宣傳に當る
- 體育部——保健衛生、健康増進に關する諸事項
- 青年部——社業の推進力たる青年層の充實をはかる
- 婦人部——婦人社員獨自の立場に於ける修養及び向上を圖る
- 相談部——結婚・家庭・法律・其他對人關係諸問題の解決斡旋
- 消費部——消費經濟の研究及び生計組合との聯絡提携
- ▼事務局——本部・聯合會等全般的の聯絡並に會務一切の實行即ち會計一般事務文書受發・會合斡旋各部聯絡等萬般の實務遂行
- ▼編輯局——本部・聯合會等全般の動靜並に會務一切の報道即ち「協和」・叢書等の編輯・執筆及び出版關係萬般の實務遂行

實 務 機 關

社員會綱領

- 一 自主獨立ノ精神ヲ涵養シ自律自治ノ修養ヲ積ムコト
- 二 會社ノ使命ニ立脚シ其ノ眞正ナル地位ヲ擁護スルコト
- 三 會社ノ健全ナル發達ヲ基調トシ社員共同ノ福祉ヲ増進スルコト

1 5 2 1 1

昭和十五年十一月二十日印刷
昭和十五年十一月二十五日發行

大連市柳町八四ノ二二

著作兼 發行人 芝 田 研 三

大連市東公園町三一

印刷人 鍋 田 覺 治

大連市東公園町三一

印刷所 滿洲日日新聞社印刷所

發行 南滿洲鐵道株式會社 弘報課

南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社